

技術士二次試験準備 公開無料セミナー  
—おもしろいほど合格できる体験論文—

その1 業績概要で技術者コンピ  
テンシーを表すには

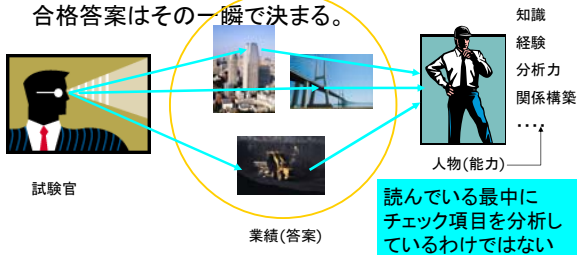
技術士合格への道研究所  
2010.08.14

「技術者コンピテンシー」を表すには？

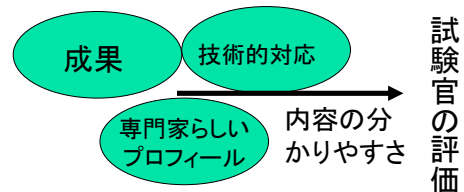
- 「技術者コンピテンシー」を人為的に表現できないか。
- 人が技術者を専門家と認める場合はどんなときか
- 表現方法や言葉尻といった表面的なものではない
- 専門家としての本質的な活動、能力を表すしかない

技術士試験、合否は一瞬で決まる

試験官は一読で技術者のコンピテンシーを感じ取る。  
合格答案はその一瞬で決まる。



試験官の評価を高める因子



コンピテンシーは段階的に「測定」される

- |                       |   |          |                 |
|-----------------------|---|----------|-----------------|
| 1. 技術者にふさわしい経験        | } | 申込書、業務経歴 | 段階的に、最適な事項      |
| 2. 正しい判断、論理性          |   | II       |                 |
| 3. 広い見識、考察力           | } | 体験論文     | あなたに最も必要なものは？   |
| 4. 問題解決・課題達成のプロセス     |   | I-1,2    |                 |
| 5. 技術な対応力             | } | 口頭試験     | 最終的にコンピテンシーを高める |
| 6. 技術応用力              |   |          |                 |
| 7. 臨機応変コンサルタントとしての対応力 |   |          |                 |
| 8. 専門家としての使命感         |   |          |                 |
| 9. 技術者倫理              |   |          |                 |

コンピテンシーとは  
高い業績をあげる人の、考え方、姿勢、こだわり、行動特性  
単なる能力ではなく「成果につなげる」という視点

業績の選定、業績概要の書き方

業績概要では約10行程度で手掛けた業績の物件、規模、難易度等を表します。ここでは技術的貢献を表したいので、

1. 物件、対策の概要で特筆できるものは何か（規模、難易度等）
  2. 応用した技術は何か
  3. 自分の貢献はなにか
  4. 成果はなにか
- この4点を端的にまとめていきます。

## 立場・役割

- 技術士というのは指導監督する業務  
そのような職務がイメージできる
- 現場代理人、大学院生  
ただ言われたことをする「作業員」ではない  
人に教えて監理する「指導者」

## 問題ケース1 要因が絞り込めていない

- やったことそのもの、作業の羅列、マニュアル的
- やったことや意義がよくわからない  
「だから何？」と言いたくなる
- とにかく文字数が多い

## 課題及び問題点、技術的提案

### 体験論文の3要素

1. 課題 業務上発生した問題を解く方針
2. 問題点 解決に向けて行動するとき  
に障害となること
3. 技術的提案 上記2を解消して、  
上記1を達成する方法です

## 問題ケース2 独断的、論理に飛躍ある

- 根拠がなく説明が独断的、「なぜそう  
なのか？」と問いたくなる
- 特殊な体験を中心に書いていてついでに  
いけない
- 本来やるべきことじゃない周辺事項  
をやっている

## 問題点、解決策、苦心した点、 解決策の妥当性

### お勧めしたい4要素

1. 問題点 問題解決当初に取り組まなければなら  
なかった問題
2. 解決策 解決の際に実施したこと
3. 苦心した点 2を開発する上で検討したこと
4. 解決策の妥当性 解決策に独創性や汎用性  
があること

## 問題ケース3 とにかくすべて書く

- 成果になりそうなことをすべて書  
いている
- (仕方なく) やったことがそのまま  
書いてある